時事新報

第千五百七十六號
明治二十年四月三十日　土曜日
舊丁亥四月八日　（乙丑）

出入時刻
月　出　午前五時十一分
月　入　午後六時四十四分
月出午後十時零三分
月入午後零時零四分
潮汐　午前九時五十四分
午後十時十九分
（西暦一千八百八十七年）

時事新報

時事新報

強兵の手段は陸海直接の固めるのみ限らず

日本の國權を護持するに陸海兵師の固め嚴重あらざる可らずとい我輩毎度の夙論として明治二十年の今日此夙論の實際に行はれ來りさるは誠に以て滿足の外なし全國鎮營の兵制を改革して且つ師團の數員を增し海岸各所の要害には逐次砲臺を築造し對馬と始め須重の諸嶋嶼にも分營を設け將さ海面の一方には鎮守府の區劃を定めて軍艦々隊の部署と統一にし其外甲鐵艦水雷艇の新造注文より陸海諸兵學校の振作に至るまで當日本國兵備の面目を一新せざるものにして國權確立の基礎漸々以て堅固とあるい邦家安康の吉兆此上なしと謂はざる可らず然れとも大砲と云ひ又軍艦と云ひ此等攻防の器具あるものい死物あして死物と活用するは陸海軍人の働き一つ、兵の强弱い器の利鈍の其外さ事々兵術調練の巧拙に因る事明白の條理にして此點より論ずる時は軍人の規綱線操を嚴肅にするの必要い言ふ迄も無く國民社會より大ゐ軍人に名譽と捧げ、名譽の歸する所さ其生命と擲たしめ或いその位地報酬を豁かにして國事の盡力さ其餘念を奪はし免ざるやうの工夫大切ある事是れ亦申すに及ぶ可らず然れとも唯單に此等の手段を盡し以て强兵の務めさ扳目あしと思惟するい大の誤り、既に兵備ゐ依賴して社會人民の安寧獨立を全ふし得る恩惠あらば社會人民の務めとしてい其事々物々、實際自家に資支へ無きと限度とし己れを枉げて兵備の用ゐさ供するの覺悟無かる可らず何願の大砲何馳力の軍艦壯偉あらざるに非ずと雖ども將さ何萬の陸兵何百の海軍强大あらざるに非ずと雖も先立つものい金にして盡くるものも亦金あり富力國さ有るの國民なれば幾丈少しの金を費して成丈多くの兵備を買はざる可らずこれを兵事に實用すべきのみ

例へば道路橋梁の修繕法の如きものも、其業の官の手さ係るさ民の手に屬するゐ論なく事の表面に於てい商業通に密接の關係あるそれ兵備には無當り線故の違きものとして專ら經世利益の點より其工事に着手せるあれと軍國の務めとしてい甚ざ宜ゑからざる事あらん今日にても兵師、鎮線の爲め地方さ行軍する時其運路は充分に往屆き具事に以て文明國の道路たれども所謂なる橋梁の邊に至りては幅員遠に狹隘し輜重の中點前後彫れて一箇所の頓挫する爲め隊列を亂されて非常の煩雜を來す知きい鳥渡世人の氣が注ざる小事なれとも最初此橋梁修繕の節建築者若し軍事の點に心掛け道と橋との關係は云々すべしとの考案もありたらば別段の入費を要せずして滿足なる橋梁を作るゐとは容易ならん又道路としても則と導にて往來坦途十里直線の工事は美あれども往々曲り角の邊に至り急激の轉廻ある爲めに軍列を妨ぐるもの勘おからずと左りとい折角ある工事あれとも軍人より之を觀れば其不注意不信切と恨ひ々當然なるべし此等は消極の例あれとも更に軍國の需ゆと謂らば社會の人事に別段の害あくして、注意の有無大さ國の兵備に關係するもの勘おからず譬へば民間にて使用する荷車の類の如きも平生の所用は專ら商品貨物の運送を爲すに止まるも一朝干戈の事起らば之を軍事に轉用し彈藥兵粮武器銃砲の搭載さ充んとの覺悟もあらば全國荷車、車輪の大小車軸の長短等を畫一にし平生は商用、事あらば軍用と夫き〳〵機に應じて轉換するゐ之れが爲め荷車を作るべき費用敢て惜むに非ず唯畫一の令を施す其間ゐ多少の面倒はあらんあれとも素破、事ありと云ふ曉に全國の商車悉く化して軍車と爲るの利益い此の面倒を償却して更さ餘剩あらんと思はるなり

右い一小都局の話ゑにして兵備上さ左迄の關係なしと云はゞ夫れ迄の事として別に異存も無けれと差當り日本の兵備上に重大の利害あるは鐵道敷設の企てあらざるい無く日目今の形狀到る處に鐵道敷設の企てあらざるい無く日本鐵道會社が東京より青森に達すべき線路中央政府が着手しさる東海道の線路、山陽道鐵道會社が神戸より馬關までの線路幷さ目下創設中ある九州鐵道の線路を別にし其他何會社何線路の工事都て竣成に至るものと看て偖此等諸線路の軌道を廣軌にするか狹軌にするか此の不都合あるは歐米の定論にして日本今日既成の線路は乃ち此狹軌道のものには非ずや從來物の運搬乘客の往返等經世の利益のみより考察すれと狹軌道さて別段の不便宜は無からんなきとも鐵道と兵略上に活用する點より言へば日本の軌條と狹隘に限りたるい決して得策と爲ゑ可らず論者中或い今日までの既成線路が狹軌道なりといふ事かさて廣軌道を非とするものもあらんかなれとも分の差い矯め易し千里の悪隔に至り遂ゐ手の付けどころ無きに煩悶するは智者の事と謂ふ可らず又實際の都合如何とも難しとあらば既往の線路は其儘狹軌道に差措き新さゐ敷設すべき部分丈と最初より廣軌道と定め迫て既往の狹軌道をも時と計らひて廣くするの工夫にせば左して損失の伐るべきにも非ず只兵備擴張の今日鐵道を以て商賣營利の傍らに兼て護國强兵の要具と爲さん考へあらば軍用に適せざる狹軌道と他日ゐ設け置て一朝事あるの日軍人兵士より當年の不注意不信切と怨まれざらんゐと我輩が預め今日の官民全體に希望する所以なり

官報

○東京府達第三十四號　東京府小笠原嶋廳

郡區役所　伊豆七島役所

戸長役場　伊豆七島村役場

兵庫秋城廣島高知德島愛媛熊本ノ七縣ニ於テ本月一日ヨリ巡査看守給助例施行ニ付管下本籍若クハ他府縣ニヨリ寄留ニシテ其給助ヲ受クヘキ者ヨリ右ニ關スル調屆等差出タルトキハ奥書ノ上當廳ヘ差出スヘシ

明治二十年四月二十九日　東京府知事高崎五六

○判事登用試驗者及第　義ニ司法省ニ於テ判事登用試驗委員ヲ各裁判所ニ出張セシメ別ニ各裁判所ニ及第セシ者判事補一人アリ

○野火延燒　宮城縣下に於ては本月十六日暴風のため近山の野火延燒して人家に及び燒失に極るもの所々之あり本月二十二日の調査に據れは仙鹿郡高木村三戸、同水沼村十二戸、鹿社七箇所同眞野村三十七戸、神社三箇所、佛閣一箇所、學校一箇所、同竹ノ浦濱二十七戸、桃生郡大塚村十三戸、伊具郡丸森村十八戸、同大内村二戸にして附屬家共悉く燒失セリ又眞野村に於て女一人燒死、男二人火傷、屬一人燒死、丸森村に於ては男二人火傷せり

○軍艦發着　去る十八日英國軍艦コンスタンス號は上海より長崎に入港、同日露國軍艦レヴーチ號は朝鮮地方に向ひ長崎港を拔錨○同國軍艦ヴイツチエー號は去る二十六日午前四時四十分布哇國ホノルヽより横濱港に着せり

○福岡縣類似虎列刺　福岡縣筑前國企救郡小倉大坂町に於て類似虎列刺患者男二名あり一名は去る十七日入院治療せしめ一名は去る十九日死亡せり

○河身改修工事着手　山梨縣に於て當二十年度より向七年間に施行すべき同縣下富士川釜無川河身改修工業は既に去る二十一日を以て着手せり

○北米合衆國よりの賠償金　一昨年米國ワイオミング地方の土人が支那人を殺害し財産を掠奪せし一件に付き久しく兩國間の一問題となり居りしが近頃米國上下議院の可決する所となりて右賠償として洋銀十四万七千七百四十八弗餘を拂渡したり右に付きて米國國務卿ベーヤード氏より清國欽差大臣張氏に宛たるロックスブリンク埠に寄留する貴國人が暴民の爲めに殺害せられ併せて財産を損失せし件に關して弊國上下議院に於て賠償金を支出するの可決を得たり又本年二月二十四日弊國大統領の批准を禁り右件に付きて賠償として洋銀十四万七千七百四十八弗七十四錢を貴國政府に輸して被害者に向ひて適宜に配分すべき旨を以てせり右趣意貴大臣より貴國朝廷に傳達あらんことを企望す右謝意に及び候也

一千八百八十七年三月三日　北米合衆國國務卿　ベーヤード

大清欽差大臣　張

○黄河疏浚工事　昨年來清國官民の共に其禍輪の結果如何に注目し居りたる黄河疏通工事は彌々西洋の流儀法を以て疏通するに決し右工事は佛國西人繻威尼氏に委任せり同氏は本月七日を以て山東委員と共に大沽より兵艦鎮海號に乘込み山東に赴き黄河を巡視し繪圖の調製に取掛りたると云ふ若し此工事成功せば我く黄河氾濫の患を其せざるに至るべし

○獨逸代議士選擧者の數　今日までの調査に據れは本年二月二十一日に投票したる選擧者は七百九万千九百九十一人にして之を各黨派に就きて區別すれは左の如し

千八百八十七年

保守黨	一一九四、五〇四人	（增）	三三三、四四一人
帝國黨	九九三、一九五	（增）	三〇五、五〇八
「ナチヨナルリベラル」黨	一、六五八、一五八	（減）	六六一、一二五
自由黨	五四九、三〇二	（減）	四四七、七〇二
國民黨	一〇九、三七二	（增）	一三、四八一
「ウルトラモンターチ」黨	一、六二七、〇九五	（增）	二四八、七〇一
波蘭黨	二一三、六二六	（增）	九、四三八
「ゾチヤールデモクラート」黨	七五四、一二八	（增）	二二四、一九二
「エルザス、ロートリンゲン」黨	一三七、六五四	（增）	八二、〇八三
「ウイルデ」黨	二五、九〇三	（增）	三、一三四
合計	七、〇九一、九九一	（增）	一、四二九、〇三四

（以上本年四月二十九日官報）

雜報

○横川磯部間に汽車　井上鐵道局長幷に内藤同事務官は中仙道鐵道線路なる碓氷川橋の修繕工事竣功したるを以て去る二十七日見分の爲め出張し一昨日直ち歸京したり右ゑ付き同日より横川磯部間の汽車は元の如く運轉を始めたるよし

○石灰　高知縣浦戸町の豪商小松龍太郎氏の製造に係る石灰い其筋に於て檢査しさるゐ純白緻密の細粉ゑして最上品なれば今慶皇居御遊幸事務局の御用品とゐり近々數十萬貫を輸送するよし

○賣買約定濟　上野工藝品共進會に陳列品にて去る十五日より二十一日まで一週間賣買約定濟となりたるは六百五十九品にて其代價は千六百八十圓六十錢餘ありといふ

○捕鯨　石川縣下加賀國能美郡日末村なる北海捕鯨組の支部にては去る二十六日同所近海に於て同組の養明に係る捕鯨を以て二頭の鯨を漁獲したるよし

○大坂製銅會社出張所　同會社にては府下日本橋區龜井町に出張所を設けて製銅の販路を擴張する見込の由にて昨日よりその新築工事に着手したりと云ふ

○大坂の摺附木　近來大坂より支那各地へ輸出する摺附木い頗る多額にて其原材は多く大和國に產する松並にハコヤ等の木を以て製する事なるが現今大和の山中ゐ國品を製造する場所い凡そ五十餘箇所もあり各所に人夫十五六名より二三十名を使用して盛んに製造と爲ゑ居れり當今日々大坂へ積出す高は千束を以て一駄と爲したる物凡そ百五十駄（一駄の目方十八九貫目より二十一二貫目迄）位宛なり又直段は木質に依りて違ゐあれども一駄ゑ付き一年間ゑ全國農業代價より種子肥料なを減じたるものとそ

○農夫の收穫　農商

作物種類　利益

米　一圓六十

裸麥　六十六錢

大豆　一圓十七

蕎麥　四十二錢

木綿　三圓六十

烟草　五圓六十

右は農夫自ら勞働算なゑ又同年全國の七十六戸にして內手作人亦十分四ゑして每戸平均耕作反別い每戸一年の所得十圓作人は其所得中より社困難想ひ見るべき

○商工會員の撰擧　組合にて東京商工組合頭取高羽悠兵衛氏に招聘そる工學士巡歷し工業上の實地諸材料を蒐集して歸京に活用する能はざり貫うんが爲め右諸材昨今其計畫中なりと

○自轉車隊　近着の大臣ブーランゼー將軍に際し新に自轉車隊同國に於て夏季及び冬せし免たるに騎馬兵より思ひ付たるゐ軍事上に用ゐたる事を步して八日間永時は馬より遙か廉に比して損失の憂ひ用する所は道路善良ゐ非れば能はざるが如し勇往敢進して山川夫をして二輪車或は二配達と爲さしむるは郵便局ゐても之を倣ひ府外に於て每朝の たるゑ何ども皆な其

○當國の製造事業　八十四年諸物品製造高磅の價値にて製造を使役する事九千三十九年に比するに製造とも之に反ゑ製造磅職工の增加は七萬千歩と共に大に令本其計算中には所謂小職所在に散在して